

特定非営利活動法人Alazi Dream Project

2024年度事業計画書

事業費について

全体の事業費

前期報告: 8,742(千円) → 計画: 12,216(千円)

特定非営利に係る事業

前期報告: 8,316(千円) → 計画: 11,522(千円)

(1) イベント事業

前期報告: 67(千円) → 計画: 200(千円)

① 自団体活動報告や、他団体とのコラボイベント

- マンスリファンディング期間中の5月～8月末までに計3回開催する。
- その後も定期的に月1ペースで開催し、認知度の向上を目指す。

② チャリティー異業種交流会

- 7月に小規模で、開催予定。その後はアフリカ料理会との兼ね合いで判断していく。

③ アフリカ料理会

- 8月に2度開催予定。作って食べる会や、ふるまう会など、活動報告と交えながら、2か月に1度のペースで、新規層へのアプローチを狙って、継続したい。

(2) 国際協力推進のための開発教育事業

前期報告: 201(千円) → 計画: 200(千円)

大学・高校・中学校・小学校・企業・地域での異文化理解と開発教育のための講演会の開催

- 現在、最も順調に伸びている事業。今期も様々な依頼を受け、視聴者は約600名を目指す。売上約70万円を目指す。

(3)シエラレオネ共和国における就学支援事業

前期報告: **9,026**(千円)→計画: **11,122**(千円)

①小学校定額給付支援

- ケネマ県は、日本寄付財団Maaruプロジェクト学校建設(受益者100名)へ追加30万円の送金を実施する。支援完了とともに、事業終了する。

②シエラレオネ奨学金給付支援

- ケネマ県では、5名への活動を継続し、Afrimoneyでの電子マネー送金も検討する。

③若年妊娠女子復学支援

- ケネマ県において電子マネーを活用し、10代のシングルマザーの復学支援を**100名**に行うことを目指す。

④男子中高生への性教育プログラム「ハズバンドスクール」

- JICS基金を活用し、ケネマ県20校1万人の性教育開催、及び性教育スピーチコンテスト10校での開催を目指す。
- JICA基金を活用し、以下の地域での拡大を目指す。
 - ボー県の中高生約2,500人(10校)
 - カイラフン県の中高生約2,500人(10校)
 - プジェフン県の中高生約2,500人(10校)

その他助成金等を活用し、学校でのアンケート調査／学生へのアンケート調査を、分析・評価し、適切な目標値を定め、活動を推進する。

(4)災害その他の緊急事態に対する救援事業

前期報告: **0**(千円)→計画: **0**(千円)

事業実施の必要があれば速やかに理事会を開き緊急クラウドファンディングの立ち上げ等を行い、対応する。

その他の事業

前期報告**410**(千円)→計画: (千円)

(7)西アフリカ雑貨販売

前期報告: **410**(千円)→計画: **693**(千円)

イベントやネットショップにおける西アフリカの雑貨販売

シエラレオネ産の布「Gara」を使用した商品制作に注力する。ボランティアさんの活用で、日本においてさらなる商品制作・販促を行い、売上は**70万円**を目指す。

